



学校通信

令和8年 5月29日
東京都立葛飾盲学校長
竹内 大吾
(第3号)

「小学部移動教室～発見名人になろう～」

校長 竹内 大吾

5月にもかかわらず、多くの真夏日もあり、吹く風にも夏めいた気配を感じる頃となりました。

さて、5月19日(火)から20日(水)にかけて、小学部4～6年生は、移動教室で、千葉県立手賀の丘青少年自然の家に行ってきました。日中は、アスレチック遊びや勾玉制作を行ったり、夕食として、はんごう炊飯でカレーライスを作ったりして、自然の中で、普段とは異なる体験をしてきました。

移動教室の初日の出発式の校長挨拶の際、私から、子供たちに対して、2日間の移動教室をとおして、「発見名人」になることを伝えました。普段とは違う鳥の声を聞いたり、草花の香りを嗅いだり、集団での活動の楽しさに気付いたりなど、様々な感覚を使って、普段の学校生活とは異なった環境の中で、新しい発見をすることを意識してもらいました。はんごう炊飯で、火のつきやすい薪の組み方、火が点いていく様子を発見した児童、手賀の丘の施設のお風呂のお湯と昨年度の宿泊施設のお風呂のお湯の感触が違うことを発見した児童など、それぞれの児童が様々な発見をしたようです。

「発見」というのは、極めて能動的で、主体的な行為になります。私たちは、自分の五感をフルに活用して世界から得られる情報や刺激を感じ取ろうと意識することにより、様々なことに気付いたり、発見したりすることができます。一方で、外界からの情報等を感じ取ろうと意識することには、エネルギーを必要とします。そのエネルギーの源になるのが、好奇心であり、興味・関心になります。

今年度も、本校では、さまざまな教育活動を行ってまいります。その中で、幼児・児童・生徒が、多くの「発見」ができるように、興味・関心を高めるような工夫をしていきたいと思えます。

結びに、6月13日(土)には、土曜授業参観があります。ぜひ、保護者の方々におかれましては、御来校いただき、日頃の家庭とは違った子供たちの様子を見ていただき、「こんなことができるようになった」「こんなことに頑張っている」などと、子供たちの新たな一面や成長したところを「発見」していただければと思います。

「幼稚部春の遠足」

4月22日、大谷田南公園へ親子遠足に出かけました。ミニ列車に乗って園内を回ったり、ゴーカートに挑戦したりと、様々な体験を楽しみました。園内のあちこちから「もう一回!」という楽しそうな声が聞こえ、笑顔あふれる楽しい遠足となりました。保護者の皆様には、お忙しい中、御協力いただきありがとうございました。

(文責 森本)